

蔵出し日記

市内5つの県立高校の生徒が市報記事を作成!

第5回目は、半田商業高等学校です。

市内の高校に通う学生が高校生活を送るなかで感じたことを、高校生独自の視線で発信します。
※記事の内容は高校生ライターの見解や表現を反映しており、編集は最小限に留めています。



高校生ライター
半田商業高校 M.Y

彼岸花の結婚式と花嫁行列

私は、小さい頃から大好きな地元を少しでも盛り上げ、貢献したいと思っていて、「地元のために何かしたい!」という強い思いから、半田商業高校へ入学しました。

そんな私が、半田商業高校での3年間で最も印象に残っているのは、「彼岸花の結婚式と花嫁行列」で巫女さんを務めたことです。人生で初めて、結婚式に関わる役割を経験しました。式に関わる中で、新郎新婦やご家族の方と言葉を交わすことは少なかったですが、私に対して深くお

辞儀される姿や優しい表情から、人に感謝されることの嬉しさを感じました。その「ありがとう」には、新郎新婦やご家族の大切な想いが込められているように見え、私の一つ一つの行動が誰かの特別な時間を支えているのだと実感しました。

半田商業高校で過ごした3年間は、私にとってかけがえのない大切な思い出です。卒業後も、半田商業高校での経験を活かし地元に関わり続けていきたいと思っています。



▲彼岸花の花嫁行列の様子



高校生ライター
半田商業高校 S.Y

高校生活の中で感じた半田の魅力

私は東海市に住みながら、半田商業高校へ3年間通いました。東海市は工業が盛んで駅周辺もにぎやかな一方、半田市は歴史ある街並みや自然が身近にあり、落ち着いた雰囲気のある街です。毎日の通学を通して、同じ愛知県でも街の空気や人との距離感が違うことを感じました。

半田市では、地域とのつながりを大切にしている場面が多く、温かい雰囲気の中で高校生活を送ることができました。

半田商業高校では、地域の方と協力して商品を企画・開発する取組があり、意見を出し合いながら一つのものを形にしていく経験をしました。また、半田市をより良い街にするための取組として、市役所で「模擬結婚式」も行いました。この取組は、数年前から授業の一環として行われていて、市役所や「カネマタ衣裳店」の方々など、地域の方に協力してもらっています。こうした取組を通じて、半田市の魅力は、地域のみんなが丸となって街を盛り上げているところだと感じました。



▲模擬結婚式のウェルカムスペース